

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2014. 4. 21

下水道機構の『新技術情報』 第138号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

今週はどんよりと雨でスタートです。昨日は、二十四節季の「穀雨」。穀物を育てる雨が降り、芽を出させるという意味なのだそうです。この雨が美しい新緑の季節をもたらしてくれるのですね♪

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第138号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

#### ◆◆◆トピックス◆◆◆

##### ■インフォメーション

- ・5/8(木)に技術サロンを開催します！

当機構 企画部兼研究第一部長 三宮 武、テーマは「下水道機構におけるこれからの抱負と下水道の資源・エネルギーの活用に関する最近の話題」です

##### ■機構の動き

- ・今週は、特に行事はありません

##### ■Tea Break

- ・ダム巡り (研究第二部 井川 理さんからの投稿です)

##### ■まる子のゆいまーる♪

- ・前回に引き続き、4/1 付着任の機構ニューフェイスをご紹介します♪

##### ■国からの情報

- ・4/21 臨時号および4/18 付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。

#### ●5/8(木)に技術サロンを開催します！

講師は、当機構 企画部兼研究第一部長 三宮 武、テーマは「下水道機構におけるこれからの抱負と下水道の資源・エネルギーの活用に関する最近の話題」です。

※参加お申し込みはこちら

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

---

機構の動き （機構の行事予定です）

。 。 ○ 。

●平成 26 年 5 月 8 日 (木) 17:00~18:00

行 事 : 第 326 回技術サロン

場 所 : 機構 8 階 中会議室

ゲスト : 下水道機構 三宮 武 企画部兼研究第一部長

テーマ : 『下水道機構におけるこれからの抱負と

「下水道の資源・エネルギーの活用に関する最近の話題」』

※参加お申し込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

---

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。 。 ○ 。

●ダム巡り （研究第二部 井川 理さんからの投稿です）

私は神奈川県のおちょうど真ん中あたりに住んでいます。近くには宮ヶ瀬や津久井などいくつかのダムがあるので、天気の良い休日には、自転車でダム巡りをする事があります。

ダムなので当然かなり高い場所にあります。登り切った時の達成感は一瞬味わうと病みつきになります。観光地化されているダムも多く、連休の日などは駐車場待ちの列ができる程の人気スポットになっています。事前に調べておけば、観光放水を見ることができるダムもあります。ダムの下から眺める放水は圧巻の一言に尽きます。

以前から密かに人気があるので、ご存知の方も多いたと思いますが、ダムの管理事務所等ではダムカードをもらえます。カードにはダムの写真や基本情報（所在地、型式、目的など）が記載されていますが、特に面白いのが「こだわり技術」で、例えばそのダムが日本で初めて採用した技術等が書かれています。ダムカードを読みながら改めてダムを見上げると、先人の工夫や苦勞の跡を感じることができ、より一層楽しむことができるので、おすすめです。

最後になりましたが、下水道機構に出向してから、早いもので2年間が経ちました。5月からは親元に戻り技術開発などの業務を担当します。下水道機構で得た財産を今後の仕事に役立てていきたいと思っています。

お世話になった皆様、本当にありがとうございました。そして、これからもよろしく願いいたします。

---

まる子の結まーる （皆様との交流の場です）

。 。 ○ 。

●前回に引き続き、4/1 付着任の機構ニューフェイスをご紹介します♪





## ②流域管理官関係

- ・総合的な流域管理の推進について
- ・流域別下水道整備総合計画について
- ・高度処理及び合流式下水道の改善対策の推進について（B-dashを含む）
- ・雨水・再生水利用の推進について
- ・水質リスク低減に向けた取組の推進について
- ・浸水対策の推進について
- ・食と下水道の連携の推進について

## ③下水道企画課関係

- ・ベンチマーキングの取組みについて
- ・PPP/PFIについて
- ・資源・エネルギー利用の推進について
- ・国際貢献と官民連携による水ビジネスの国際展開について
- ・広報活動の推進について
- ・ICT活用について

## ④下水道管理指導室関係

- ・下水道事業の経営改善について
- ・下水道施設の維持管理について
- ・維持管理上の事故発生時の情報連絡体制等について

## ⑤下水道事業課関係

- ・東日本大震災からの復旧・復興について
- ・地震・津波対策等の着実な推進
- ・持続的発展可能な下水道事業管理
- ・時間軸を踏まえた未普及対策の早急推進
- ・下水道事業におけるエネルギー効率に優れた技術の導入について
- ・下水道工事等の適正な執行
- ・事故防止対策

## ⑥国土技術政策総合研究所・（独）土木研究所関係

- ・国土技術政策総合研究所・（独）土木研究所における調査研究

### 【地方公共団体からの情報提供】

#### ①埼玉県－河川・下水道の一体的な整備に向けた取組

浸水実績のある全ての市町村における内水ハザードマップの作成を促進。各市町村における「河川・下水道事業調整協議会」の設置促進（現時点で13市）

#### ②栃木県－下水道BCPの策定

下水道管理者自らが考え、適時見直しを行うため、直営で策定。県が勉強会を開催するなど市町の策定取組を支援し、東日本大震災後3年で県内BCP策定率が100%に。

本年2月27日に、県、市町、民間事業者等で合同訓練を実施。

#### ③福岡県－日本下水道事業団との協力による人材育成

県流域下水道では職員のOJTとなる技術的課題の解決手法の確立を目的とした検討会を、日本下水道事業団の協力のもと設置・運営。

④大阪市下水道展（7月22日～25日、於インテックス大阪）

地元関西勢を中心とした公共セクターの出展、岩手県による震災復興関連の出展、自衛隊・気象庁による初出展、B級グルメコーナー、周辺都市と連携したテクニカルツアー、など。

●北九州市湯川新町三丁目地内雨水調整池施設見学会について【北九州市】

北九州市では平成 21、22 年の集中豪雨の被害を受け、小倉南区湯川新町三丁目地区において、湯川中央公園グラウンドの地下に雨水調整池を整備しており、今回無事完成する運びとなりました。この雨水調整池は竹馬川の水位が上がって流れなくなったこの地域の雨水を一旦雨水調整池に貯めながら、竹馬川へポンプを使って強制排水し、周辺地域の浸水を軽減する施設です。ご協力頂いた地元住民の方々への感謝も込めて、4 月 16 日（水）14 時から湯川中央公園グラウンドにおいて見学会を行い、約 50 人の方が来場され、「待ち望んだ雨水調整池が、今年の梅雨前に完成したことで、浸水被害が軽減されるため、安心できる、喜んでいる。」といったご感想を頂きました。

市の HP : <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/suidou/26301004.html>

NHK の HP : <http://www.nhk.or.jp/lnews/kitakyushu/5023663521.html?t=>

○BISTRO 下水道～レシピブック Ver1.0～が完成しました【流域管理官】

平成 25 年 8 月より国土交通省及び日本下水道協会は、下水道資源（処理水・汚泥等）の有効利用に取り組んでいる地方公共団体等のネットワークとなる「BISTRO 下水道推進戦略チーム」を設置し、定期的な会合を農産地で開き、情報の共有化を図っています。このたび、食と下水道の連携が一層進むよう、下水道資源を利用して栽培した食材を用いた調理例を発掘・収集し、「BISTRO 下水道～レシピブック Ver1.0～」としてとりまとめましたのでお知らせします。

[http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo\\_sewerage\\_tk\\_000335.html](http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000335.html)

○平成 25 年度末時点の合流式下水道の改善の進捗状況について【流域管理官】

雨天時に未処理下水が放流される合流式下水道の平成 25 年度末時点の改善状況を公表しました。下水道法施行令に基づき平成 25 年度までに改善が必要な地方公共団体については、東日本大震災の影響で遅れている 1 都市を除いて対応を完了しました。平成 35 年度までに改善が必要な地方公共団体については、2 都市で対応が完了しました。今後引き続き改善対策を推進していただくよう、国としても支援を行います。

[http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo\\_sewerage\\_tk\\_000334.html](http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000334.html)

○新たな雨水管理計画策定に係るフィージビリティスタディーの実施箇所の募集について【流域管理官】

「ストックを活用した都市浸水対策機能向上検討委員会」の最終とりまとめの公表（平成 26 年 4 月 9 日）を受け、国土交通省では、計画降雨を超える局地的な大雨等に対応した新たな雨水管理計画に関する実行可能性調査（フィージビリティスタディー）を平成 26 年度に実施します。4 月 15 日より、対象となる地方公共団体の募集を

開始しました。5月15日が締め切りですので、ご応募をお待ちしています！

[http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewage/mizukokudo\\_sewage\\_tk\\_000314.html](http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewage/mizukokudo_sewage_tk_000314.html)

●「平成26年度アジア水環境改善モデル事業」に係る実現可能性調査（FS）実施機関の募集及び「アジアにおける水環境改善ビジネスに関するセミナー」の開催について

【環境省】

環境省では、我が国の企業が有する技術を活かしてアジア域内等の水ビジネス市場への進出を支援する目的で、「アジア水環境改善モデル事業」を実施しています。本モデル事業の実施を通じ、水質汚濁が深刻化しているアジア諸国等への我が国企業の進出を促進し、水環境の改善を図ります。昨年度に引き続き、モデル事業の実施主体として、アジア諸国等で水環境改善ビジネスを展開するための実現可能性調査（FS）及び翌年度以降の実証実験を実施する事業者等を平成26年4月17日（木）から6月6日（金）までの間募集します。

<対象事業>

（1）海外展開事業の内容

モデル事業の実施を通じて、対象地域の水環境改善効果が見込まれること

（例：中小規模生活排水処理事業、産業排水処理事業、水域の直接浄化事業、水質等モニタリング事業等）

（2）海外展開事業の実施国：アジア域内又は大洋州

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18078>（報道発表資料）

また、昨年度実施した2件の実現可能性調査（FS）、3件の実証試験（実証試験フォローアップ1件を含む）の内容等を紹介するセミナーを平成26年5月13日に開催します。

さらに、水環境ビジネス展開とあわせて温室効果ガスの排出削減に効果的に対処することを狙いとして、二国間クレジット制度（JCM）の概要について情報提供させていただきます。

<アジアにおける水環境改善ビジネスに関するセミナー>

日 時：平成26年5月13日（火）13:30-17:00

場 所：全国町村議員会館 2階 会議室（東京都千代田区一番町25番地）

<http://www.nactva.gr.jp/kaikan/access/>

定 員：160名程度

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18079>（報道発表資料）

=====

【参考情報】

◆下水処理の消化ガス売却 宮崎市、民間業者へ発電用<4/11 宮崎日日新聞>

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20140411-00002492-miyazaki-145>

◆陸前高田浄化センターが稼働 生活基盤、復旧さらに<4/14 岩手日報>

[http://www.iwate-np.co.jp/cgi-bin/topnews.cgi?20140414\\_1](http://www.iwate-np.co.jp/cgi-bin/topnews.cgi?20140414_1)

◆クリークの水位調整し水害防止…佐賀市<4/14 読売新聞>

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/140414/ngt14041419550002-n1.htm>

◆新潟・柏崎市がバイオガスでCO<sub>2</sub>削減し排出権売却<4/14 MSN 産経ニュース>

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/140414/ngt14041419550002-n1.htm>

◆クリークの水位調整し水害防止…佐賀市<4月14日読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/homeguide/news/20140414-0YT8T50008.html>

◆柴山潟のシジミ復活願い ガイド団体ら1万個放流<北國新聞4月13日>

<http://www.hokkoku.co.jp/subpage/H20140413103.htm>

◆青森市が下水処理で発生するメタンガスを発電用に売却へ 年1800万円利益見込む  
<4/15 東奥日報社>

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20140415-15085031-webtoo-102>

◆下水再資源化の最先端 日本一有名な下水処理場 <4月16日神戸新聞>

<http://www.kobe-np.co.jp/news/kobe/201404/0006871088.shtml>

◆放射能汚染泥土 仮置き場 市内初運用 難産の末 搬入始まる 他地区で協議難航

打開へ弾みとなるか<4月17日胆江新聞>

<http://www.tanko.co.jp/>

---

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20140410/>

---